

すき おれいこ
秋鋤・御礼肥え 片付け終えた田を秋のうちに耕うんしたり、もみがらを焼いたもの(くん炭^{たん})を肥料として入れておく場合もあります。

くんぼの仕事



秋作の収穫まっただ中、サツマイモは一度の霜で枯れてしまいます。サツマイモ、サトイモは、収穫したら穴を掘って貯蔵^{はしめ}します。麦の播種^{はしめ}は、同じ調子でまかないと芽吹きがまだらになってしまうので気を使います。



いんげん



竹林の仕事

竹林の密度は、番傘をさして歩ける程度と言われています。竹を伐採^{ばっさい}したときは、水がたまって蚊がわかないように、残った節を縦に割っておきます。



ねんぶつこう
念仏講

講^{こう}中で集まり、念仏を唱えながら大きな数珠^{じゆず}をまわします。かつて、念仏講が地域の決め事の相談の機会にもなっていました。



年中行事

立冬
rittou

十一月七日ごろ



末候

金盞香し
きんせんこうばし

次候

地始めて凍る
ちはじめてこおる

初候

山茶始めて開く
つばきはじめてひらく



ヌスビトハギの実
いつの間にか、衣類にくっついて運ばれます。名前の由来はいくつもの説が。



ツヅレサセコオロギ
日中にリーリーリー…と聞かれるようになったら、早く冬支度を、の合図です。



ツグミ
冬鳥。原っぱなどで、いつも姿勢よくたたずんでいます。

たけのこ